

地域を探究する(産学官連携授業)

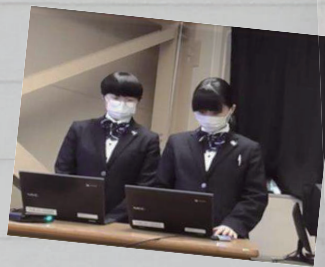
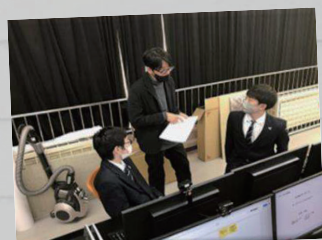
自ら課題意識をもち、適切な方法で情報を収集・整理・分析し、目的や対象を意識した情報発信ができる人材を育成します。

課題意識：自分だけが気付いたにかほの魅力を収集

情報処理：ブレインストーミングやKJ法等の問題整理技法、フィールドワーク等

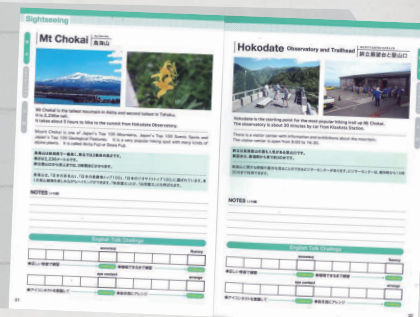
情報発信：プレゼンテーション、Webデザイン等での発信

- 産 主に情報発信の指導
- 学 主に情報処理の指導
- 官 主に課題意識の向上に向けての情報提供



地域を題材に学習する(英語)

前ALTのヨハン先生と作成した教材「Welcome to Nikaho」を使用してふるさとのよいところを英語で発信できる活動を取り入れた授業を行っています。



地域を題材に学習する(行事)

毎年6月下旬に行われている鳥海登山は自然保護と郷土を愛する心を養う仁賀保高校最大行事の一つです。困難に耐える精神力や教職員と生徒の連帯感を育みます。

地域の方々と学ぶ(デジタル探究コース)

ドローン講習やAIプログラミング、3Dプリンタといった先端技術について地元企業の方から講義をいただいているほか、デジタルアカデミックインターンシップとしてにかほ市の企業を中心に生徒のインターンシップを受け入れていただいています。

地域の方々と学ぶ(家庭科)

福祉体験教室では外部講師の方を招いて盲導犬講話、障がい者スポーツ体験、手話体験、介護体験、点字体験等の授業を行いました。また、家庭基礎の授業でも読み聞かせ教室や茶道教室、浴衣の着付け等、積極的に地域人材の活用を行っています。

地域を探究する(総合的な探究の時間)

にかほ市の特徴や良さに気付き、自己の在り方とにかほ市との関わりから、課題を発見解決していきます。

- 1年：探究活動のプロセスを学び、ジオパークを手がかりに探究活動を実際に体験し、課題に取り組む土台を固める
- 2年：地域課題に取り組む実際の活動を知り、地域の課題発見や解決に努める中で、仲間と協力し合いながら探究に向かう学びの姿勢を深める
- 3年：自らの課題を設定し、情報収集・整理・分析をととして主体的・協働的に解決策を立案し、実践を試みる



地域と共に活動する(イベントポスター等の制作)

にかほ市や関連する団体からポスター作成やロゴのデザイン考案の依頼を受け、制作に取り組んでいて、授業の成果を発揮する場としての機会となっています。



地域と共に活動する(プログラミング教室)

情報メディア科を設置している仁賀保高校の特性を生かし、市内小学校のプログラミング教室の手伝いをしたり、中学生を招いてプログラミング教室を行ったりしています。



仁賀保高校では、ふるさと教育、デジタル教育、探究型学習、キャリア教育の4つに重点を置き、日々生徒たちが学んでいます。本頁ではその一例を紹介しています。

